

H25年度再発防止対策および 原子力安全文化醸成活動の実施状況について

平成25年10月7日

説明内容

1. 業務運営の仕組み強化状況
2. 不適合管理プロセスの改善状況
3. 第8回有識者会議で頂いた主なご意見とご意見への対応
4. 原子力安全文化醸成活動の実施状況
5. 内部監査による再発防止対策の実施状況評価

点検不備問題の根本原因に対する再発防止対策

1. 原子力部門の業務運営の仕組み強化

国の検査制度変更など、規制要求等の状況変化に速やかに対応し、適切に管理できる仕組みを強化する。

〔主要施策〕

1. 原子力部門戦略会議の設置
2. 原子力安全情報検討会の設置
3. 部制の導入

2. 不適合管理プロセスの改善

不適合管理が適切、確実に行われ、また不適合の判断が限られた箇所ですら決定されること等がないよう、不適合管理プロセスを改善する。

〔主要施策〕

1. 不適合判定検討会の設置
2. 不適合管理を専任で行う担当の設置
3. 不適合管理の必要性や基準に関する教育の実施

3. 原子力安全文化醸成活動の推進

経営における原子力の重要性や地域社会の視点に立った安全文化の大切さを全社（関係会社・協力会社を含む）で醸成する活動を推進する。

〔主要施策〕

1. 原子力強化プロジェクトを主体とした安全文化醸成活動の推進
2. 原子力安全文化有識者会議の提言を踏まえた安全文化醸成施策の検討
3. 原子力安全文化の日の制定

1. 業務運営の仕組み強化状況

発電所

部制の導入による統括機能強化〔H22.9.7 設置〕

原子力部門戦略会議

■ 機能 〔H22.7.27 設置〕

原子力部門の課題を統括し、検査制度変更等に対応するための全体計画を策定

■ 構成員

- ・ 本社部長、マネージャー
- ・ 発電所長、部長、課長ほか

〈第8回有識者会議以降の活動実績〉

H25. 2. 20 第56回開催
 〃 〃
 H25. 9. 30 第63回開催

原子力安全情報検討会

〔H22.7.30 設置〕

■ 機能

本社、発電所からなる検討会で、個別の検討課題に連携して対応

■ 構成員

- ・ 本社マネージャー、副長
- ・ 発電所課長、副長ほか

〈第8回有識者会議以降の活動実績〉

H25. 4. 17 第44回開催
 〃 〃
 H25. 8. 26 第48回開催

活動状況報告

規制要求

本社

活動状況報告
 ↓
 経営層

1-1. 原子力部門戦略会議および原子力安全情報検討会での審議内容

原子力部門戦略会議での審議内容

- 新規制基準に対する当社の対応状況(パブリックコメント等)
- 再発防止のアクションプランの進捗状況(AP1~AP5有効性評価等)
- 原子力安全維持・向上活動の取組みについて
- 島根原子力発電所および島根原子力建設所の業務運営の見直し等について
- 島根原子力発電所1号機 高経年化対策に係る原子炉施設保安規定の変更認可申請について

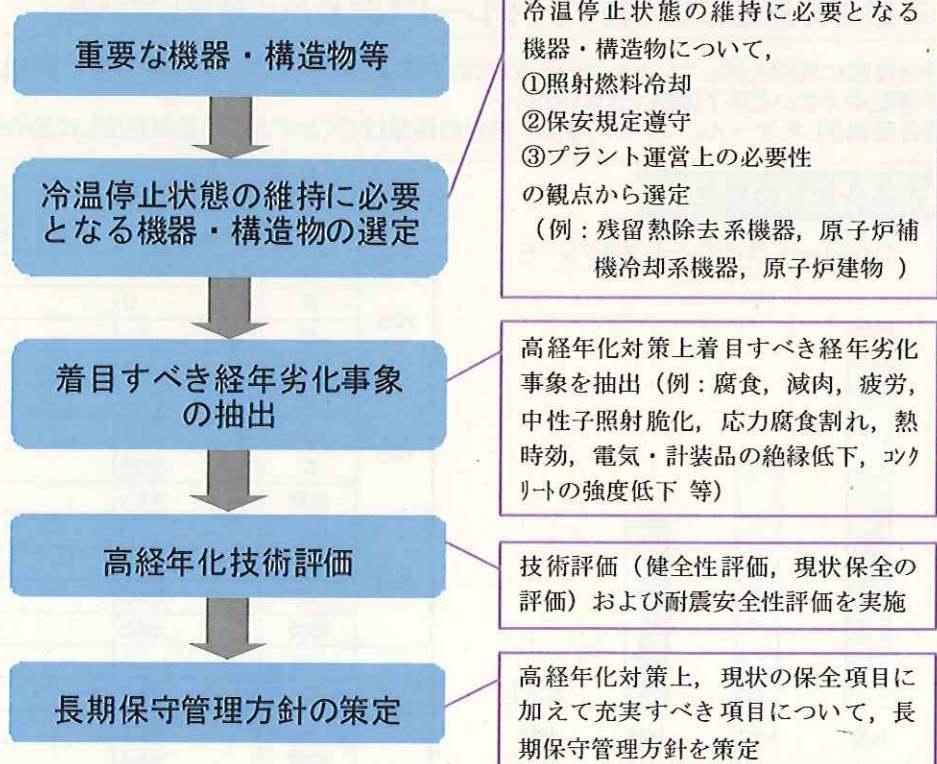
原子力安全情報検討会での審議内容(原子力部門戦略会議へ報告)

- 最近発出されたトラブル連絡先関係指示文書の内容確認
- 今後のNISA30項目および新規制基準の対応について
- 実用発電用原子炉における高経年化対策に係る事業者からの保安規定変更認可申請の時期について

原子力部門戦略会議での主な審議事例

1-2-1. 島根1号機 高経年化対策に係る原子炉施設保安規定の変更認可申請について

冷温停止状態の維持を前提とした高経年化技術評価の流れ



【申請内容】

【保安規定】

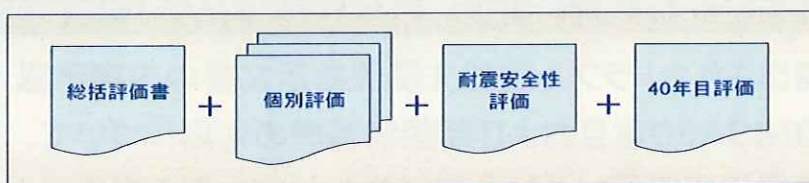
1号炉 長期保守管理方針※1 (始期：平成26年3月29日、適用期間：10年間)

| No | 保守管理の項目 | 実施時期※2 |
|----|---|--------|
| 1 | 配管(地中埋設部)*の外面については、代表箇所の日視点検等、適切な保全内容を検討し実施する。 *：原子炉補機海水系 タービン補機海水系 | 中長期 |

※1：冷温停止状態が維持されることを前提とした評価から抽出したもの

※2：実施時期における中長期とは平成26年3月29日から10年間をいう。

【高経年化
技術評価書】



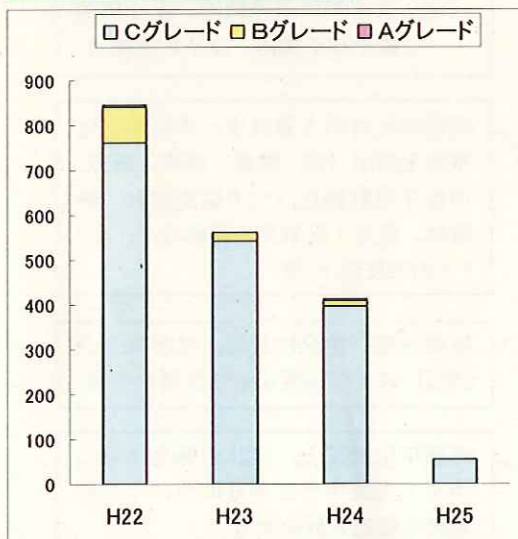
- ◆実施手順
- ◆ポンプ評価
- ◆個別機器の耐震評価
- ◆経年劣化傾向評価(30年目評価と40年時点評価との比較)
- ◆評価結果(概要)
- ◆熱交換器評価
- ◆保全実績評価
- ◆長期保守管理方針の策定等
- ◆ポンプモータ評価等
- ◆長期保守管理方針の有効性評価

2. 不適合管理プロセスの改善状況(不適合の発生・処置状況)

- 重要な不適合(A, Bグレード)の発生は少なく、不適合の総件数は年々減少傾向。
- 重要な不適合の処置は全て完了。Cグレードも速やかに処置している。

(注)・不適合処置に時間を要しているものの主な理由：次回定期検査において処置が完了するもの、および発電所が運転中でないと完了確認できないもの。
・不適合処置をしたケースについて、同様不適合の再発はごくわずか。処置の見直しに至るケースはなし。

不適合件数の推移



各年度[合計] 処置状況

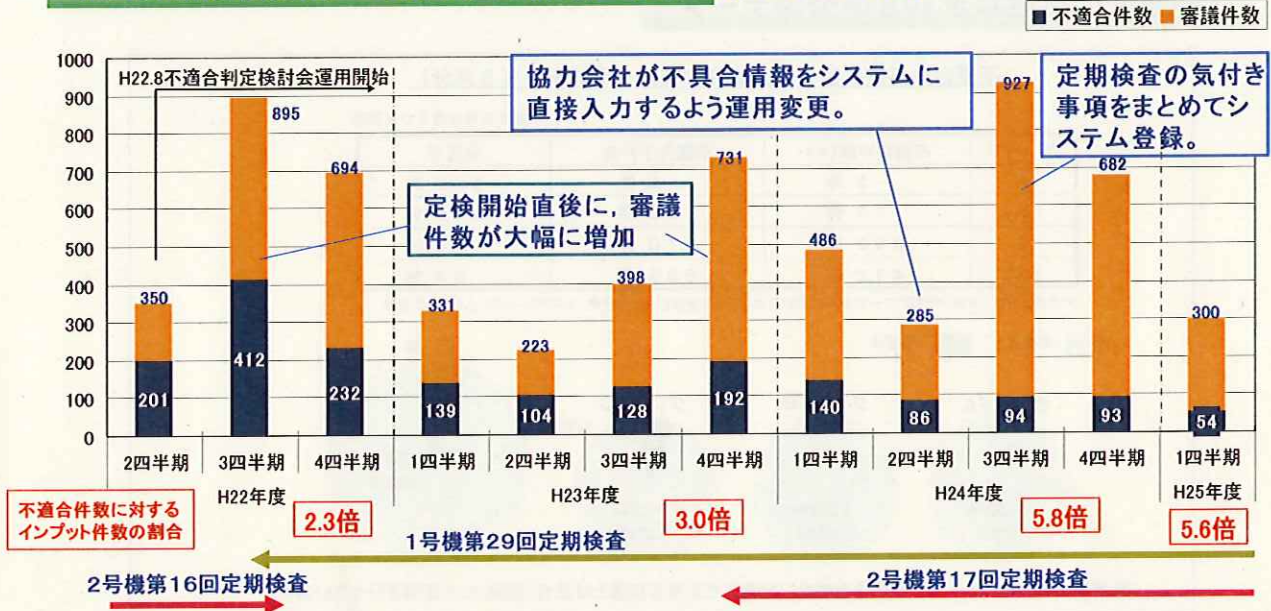
【H25. 6月末時点】

| 年度 | グレード | 不適合件数 | 処置状況 | |
|-----|------|-------|--------|------|
| | | | 処置完了件数 | 処置率 |
| H25 | A | 0 | 0 | — |
| | B | 0 | 0 | — |
| | C | 54 | 29 | 54% |
| | 合計 | 54 | 29 | 54% |
| H24 | A | 2 | 2 | 100% |
| | B | 13 | 13 | 100% |
| | C | 398 | 370 | 93% |
| | 合計 | 413 | 385 | 93% |
| H23 | A | 2 | 2 | 100% |
| | B | 17 | 17 | 100% |
| | C | 543 | 524 | 97% |
| | 合計 | 562 | 543 | 97% |
| H22 | A | 1 | 1 | 100% |
| | B | 82 | 82 | 100% |
| | C | 761 | 757 | 99% |
| | 合計 | 844 | 840 | 99% |

2-1. 不適合判定検討会の審議状況

- 不適合情報に限らず、不適合が疑われる案件は不適合判定検討会へ報告。
不適合管理プロセスの改善策が発電所全体に浸透している。

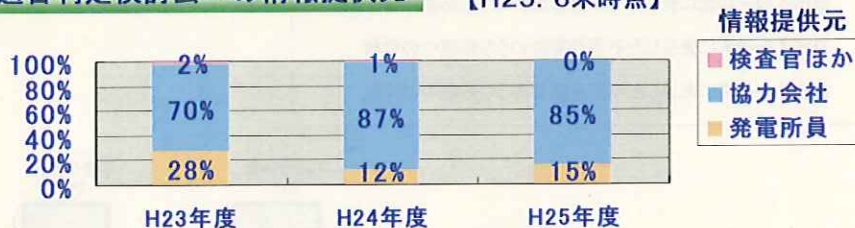
不適合判定検討会への持ち込み件数の推移 【H25. 6末時点】



2-2. 不適合判定検討会への不具合情報のインプット

- 発電所員だけでなく協力会社からも不具合情報がインプットされており、**不具合情報を言い出す仕組みが機能**している。
- 不具合情報は、不適合判定検討会へ速やかにインプットするよう目標設定し、管理しており、引き続き維持できるよう周知活動を継続する。

不適合判定検討会への情報提供元 【H25. 6末時点】



不適合判定検討会へのインプット期間の目標達成率

【H25. 6末時点】

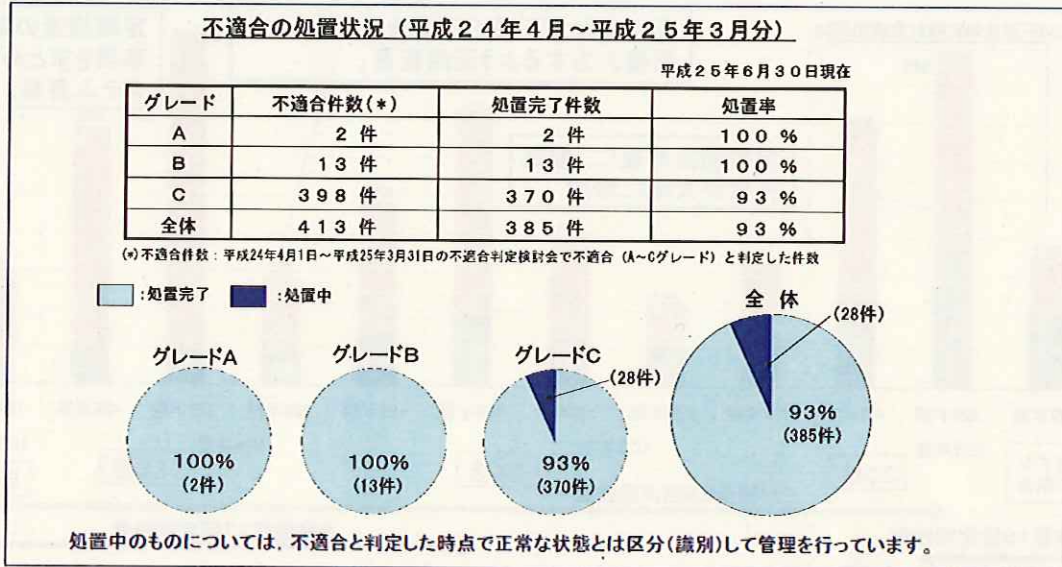
| | 不具合情報 | |
|-------|------------------|-------------------|
| | 所員情報(3日以内:80%以上) | 所員外情報(5日以内:80%以上) |
| H23年度 | 83% (5日以内:80%) | |
| H24年度 | 92.9% | 79.9% |
| H25年度 | 91.3% | 84.0% |

注()内は、目標値<不具合発生日からインプットするまでの期間:期間内にインプットした件数/総件数>

2-3-1. 不適合情報の公開(1/2)

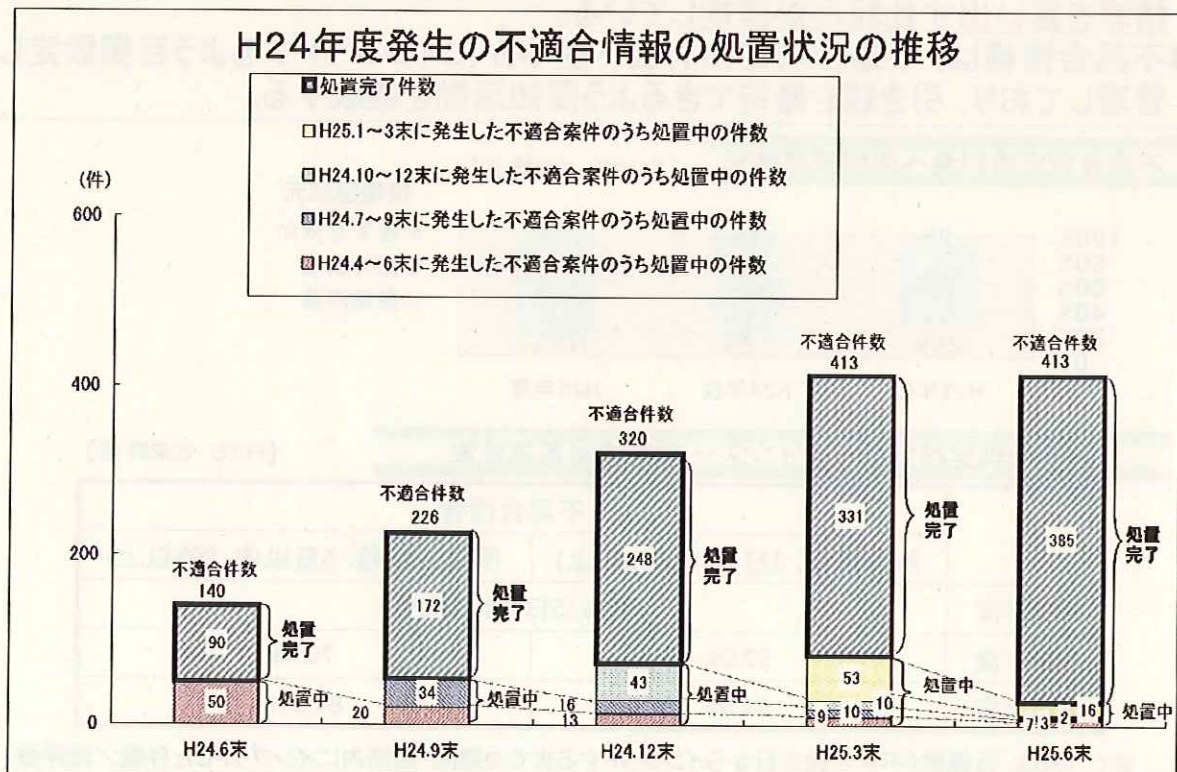
- 不適合情報について、ホームページにより以下のとおり公開している。
- ・不適合の発生状況は、不適合管理グレードごとに整理し、不適合の内容および不適合処置の計画を含め公開。(頻度：2回/月)
 - ・不適合の処置状況(不適合件数，処置完了件数)を公開。(頻度：1回/四半期)

『不適合の処置状況』のHP公開データ



2-3-2. 不適合情報の公開(2/2)

『不適合の処置状況の推移』のHP公開データ



3. 第8回有識者会議で出された主なご意見と

ご意見への対応

■ 社外委員から頂いたご意見とご意見に対するH25年度の取り組みは次のとおり。

| | 主なご意見 | H25年度対応 |
|---------|--|--|
| マンネリ化防止 | 風化防止、マンネリ化防止等の言葉は、社員に「後ろ向き」「やらされ感」と捉えられる恐れもあるので、前へ前へという思いがにじみ出るような取り組みをされたたい。また、現場の当事者にも計画づくりから参画させ、実践したらよいのではないか。 | 話し合い研修のテーマを選択制に変更 |
| | マンネリ化を防止する工夫の一例として役員との意見交換に本会議の委員や関連会社の皆さんも参加するなどを行ってみたい。 | 役員との意見交換会に有識者委員参画（安全文化の日行事に合わせて実施） |
| | 社員が積極的に不具合情報を受け止めながら、各部署で改善する決意に変えるような取り組みが重要。 | 発電所業務運営方針に改善提案件数目標を掲げ、所全体で取り組み |
| 地元対話活動 | 地元出身の社員が地元行事等に参加すると信頼感がでてくるので、ぜひ積極的に参加してほしい。 | 地元行事への参加意識高揚等のため、行事参加者の写った写真等を、発電所管理事務所玄関ホールに設置したモニターで放映 |
| | 地元行事などへの参加は、所内での仕事とのバランスも考え、社員が喜んで参加して地元の方々の意見をお聞きできるようになればよい。 | |

3-1-1. 第8回有識者会議で出された主なご意見と

役員との意見交換会

話し合い研修



4-1-1. 職場話し合い研修〔実施概要〕

■ 職場話し合い研修のマナー防止のため、**テーマを選択制にする等の見直し**を行い実施。

| | |
|-------------|--|
| 研修概要 | ① 点検不備問題の再確認 ② テーマ選択性による話し合い研修 ③ 行動基準の振り返り・策定 |
| 日時 | 平成25年4月2日(火)～平成24年5月24日(金) |
| 参加者 | 島根原子力本部, 島根原子力発電所, 建設所全員 (72グループ) |
| マナー防止のための施策 | <p>1. 話し合いのテーマは、グループ毎に下記4テーマから選択</p> <p>① 地元対話活動により収集した意見等に基づく話し合い → 地元対話活動により収集した意見等について原子力発電所に勤務する社員としてどう思うか。どう行動していくか。</p> <p>② お客さま意識調査結果に基づく話し合い → お客さま意識調査における当社の信頼に関する調査結果をうけ、原子力発電所に勤務する社員としてどう思うか。どう行動していくか。</p> <p>③ 他社事例に基づく話し合い → 三井化学の事故調査委員長の総括提言を自分たちへの戒めと捉え、これで十分だとの過信等がないか。</p> <p>④ H24年度の話し合い研修結果のフォロー → H24年度の課題解決に向けた取り組み状況とH25年度の取り組みについて。</p> <p>2. 他課の管理職が同席</p> |

4-1-2. 職場話し合い研修〔総合評価〕

■ 他課の特別管理職同席の下実施した選択制テーマによる話し合い研修について、98%の人が有意義だった、どちらかというとも有意義だったと回答。

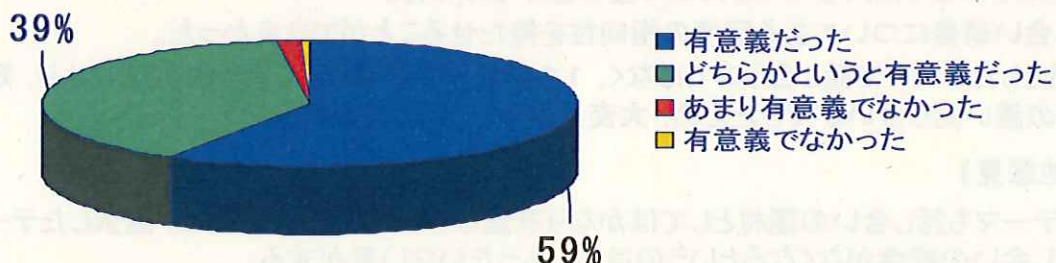
■ 選択制テーマによる話し合いに関する評価

➡ 「自分たちに合った内容でできた。」 「自由度が高くて良い。」 等

■ 他課の管理職同席に関する評価

➡ 「他課の管理職の同席は、通常の雰囲気とは少し違う”いい緊張感”があった。」 「担当外からの風を吹き込む効果があった。」 等

【参加者アンケートによる評価】



4-1-3. 職場話し合い研修〔少数意見〕

- 「どちらかというと有意義でなかった」「有意義でなかった」とする理由をみても、職場話し合い研修自体を否定する意見は殆ど見受けられない。
- 次回研修までに、アンケートの意見に対する対応策を検討し、研修に反映する。

設問 今回の研修で、「あまり有意義でなかった」、「有意義でなかった」を選択された方は、どの研修が有意義でなかったですか。その理由も教えてください。

| 研修内容 | 「あまり有意義でなかった」、「有意義でなかった」とする主な理由 | |
|---------------|---------------------------------|--|
| ①点検不備の振り返り | 1件 | ■ いつまで実施するのか。 |
| ②選択制テーマの話合い | 2件 | ■ 目新しい内容でもなく、かたちどおりの意見しか出ない。進行の仕方にもよると思うが、自分も同じ意見と言って一言も喋らない人が大半。等 |
| ③行動基準の策定・振り返り | 8件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 行動基準を策定しなくても、自主的に目標を設定し、行動する。(過去そうしてきた)やらされてやる行動は、あまり身にならないと思う。 ■ 行動基準は策定当初は意識しているが、日が経つにつれ意識が低くなってしまったため、1年後に振り返りをしてもあまり有効性を感じられない。 ■ 自担当に限らず、グループまた個人の行動基準を設定していても、形だけ(目標を掲げているだけ)で、常に意識しながら本当に行動に移しているか(取組んでいる姿勢が)見えないので、真の振り返りができているか疑問に思った。 等 |

4-1-4. 職場話し合い研修〔選択制テーマに関する評価〕

- テーマの選択制については、アンケートの結果、自分たちにあった内容でできた等、ほぼ全て肯定的な意見であり、来年度も選択制で実施する。

| テーマ 選択 結果 | 話し合いテーマ | | グループ数 |
|-----------------|---------------------|--------------------------|-------|
| | テーマ1 | 地元対話活動により収集した意見等に基づく話し合い | 51 |
| テーマ2 | お客さま意識調査結果に基づく話し合い | 13 | |
| テーマ3 | 他社事例に基づく話し合い | 7 | |
| テーマ4 | H24年度の話し合い研修結果のフォロー | 1 | |

【肯定意見】

- 選択制テーマによる話し合いはやりやすかった。自由度が高くて良い。
- 自分たちに合った内容でできたので違和感がなかった。
- 話し合い研修についてある程度の指向性を持たせることができ良かった。
- 漠然としたテーマで話し合うのではなく、1つのテーマを集中して話し合うことにより、短時間で内容の濃い話し合いができたため、大変良かったと思う。 等

【その他意見】

- どのテーマも話し合いの題材としてはかなり有意なものだったので、選択したテーマ以外は話し合いの機会がなくなるというのは少しもったいない気がする。

〔他課の管理職同席に関する評価〕

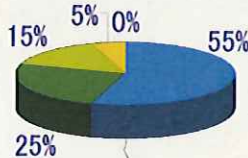
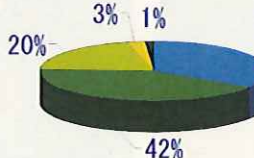
■ 他課の管理職の話し合い研修同席については、アンケートの結果、肯定意見が多いことから、**否定意見に対する対応策を検討して研修に反映し、来年度も実施する。**

| | |
|------|---|
| 肯定意見 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 他課の管理職の同席は、担当外からの風を吹き込む効果があり、とても参考になった。同席1名であり気分的にも楽で話しやすかった。 ■ 他課の管理職の同席は、さまざまな経験から意見をいただくことができ、とても有意義でした。 ■ 他課の管理職が立ち会うことは、他部署の方と情報交換ができるので、お互いにメリットがあると感じた。 ■ 他課の管理職の同席は、通常の雰囲気とは少し違う“いい緊張感”もあって、継続すればいいと思う。 ■ 管理職として他課の話し合い研修に参加したが、普段接することのない若い人のしっかりした意見が聞けて良かった。 等 |
| 否定意見 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 他課の管理職の同席はメンバー間での活発な意見や本音が出しづらい雰囲気になっていた。 ■ 管理職の同席は目的、期待事項などを明確にした方がよい。事前説明や改善に向けたフィードバックもなく、ただ同席するだけとなっている。 等 |

4-2. 地元の方々との対話活動

■ 見学会、定例訪問、地元行事に延 356人参加。特に定例訪問では、**所員の発言機会を増やすため、事前に最近の質問内容等を情報提供し、事前準備を依頼。**

■ 見学会、定例訪問参加者のアンケート評価では、肯定的意見が9割以上となり**活動が有効であると評価。**

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----------|----------------------|----------|----------------------|----------|-----------------------------|
| 実施概要 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域視点意識の向上を目的に、見学会・定例訪問への参加等さまざまな機会を通じた地元の方々との対話活動の充実を図っている。 ■ また、それらの機会を通じて得られた貴重な意見等を職場内で共有することにより意識向上の一助としている。 | | | | | | |
| 参加者数 | <table border="0"> <tr> <td>見学会の対応・同席</td> <td>延 18人 [H25年4月～8月末実績]</td> </tr> <tr> <td>定例訪問への参加</td> <td>延 60人 [H25年4月～8月末実績]</td> </tr> <tr> <td>地元行事への参加</td> <td>10行事, 延 278人 [H25年4月～8月末実績]</td> </tr> </table> | 見学会の対応・同席 | 延 18人 [H25年4月～8月末実績] | 定例訪問への参加 | 延 60人 [H25年4月～8月末実績] | 地元行事への参加 | 10行事, 延 278人 [H25年4月～8月末実績] |
| 見学会の対応・同席 | 延 18人 [H25年4月～8月末実績] | | | | | | |
| 定例訪問への参加 | 延 60人 [H25年4月～8月末実績] | | | | | | |
| 地元行事への参加 | 10行事, 延 278人 [H25年4月～8月末実績] | | | | | | |
| 評価 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【見学会】 (肯定率 95%)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【定例訪問】 (肯定率 96%)</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の業務をきちっとこなすことが地域の皆さんの安心につながることを意識できた ■ 地域とのかかわり意識がさらに高まった ■ 地域と仕事を関連付けて考えるきっかけとなった ■ 意識の変化まではいかないが、また参加してみたい(何かつかめそう) ■ その他 | | | | | | |

4-3-1. H25年度原子力安全文化の日

- 「原子力安全文化の日」には、点検不備の反省と教訓を決して風化させることなく、安全文化の大切さを全社員および関係・協力会社で再確認するための行事を実施。
- これらの「原子力安全文化の日」の取組みについて、当社HPへ掲載するとともに定例訪問先等を訪問し説明。

1. 全社行事

| | |
|-------------|--|
| 社長メッセージ発信 | ■当社・グループ会社の全社員および発電所の協力会社にメール等で伝達。 |
| 安全文化意識の全社共有 | ■全事業所において、職場会議等の機会を捉え、点検不備問題の概要・再発防止対策の取り組み状況および福島を踏まえた安全対策について、職場内での共有を図った。 |

2. 全社行事に加えて発電所で実施した行事

| | |
|----------------|--|
| 社長訓話 | ■発電所在勤社員および協力会社を対象に実施。本社原子力部門へ中継。 |
| 誓いの言葉唱和 | ■若手社員リードのもと、誓いの言葉を唱和。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">誓いの言葉</div> 安全と品質の確保を最優先に、業務の確実な遂行とわかりやすい情報発信に努め、安心いただける発電所にすることを誓います。 |
| グループ行動基準の発表・唱和 | ■代表グループによるグループ行動基準の発表・唱和。 ■全グループの行動基準は玄関ホールに掲示。 |
| 誓いの鐘鳴式 | ■代表者が風化防止モニュメント「誓いの鐘」を鐘鳴。 |

4-3-2. H25年度原子力安全文化の日（発電所行事）

社長訓話



グループ行動基準の発表・唱和



風化防止モニュメント「誓いの鐘」



4-4. 経営層との意見交換会

- 発電所部長クラス以上から平成22年度入社社員まで、幅広い対象者との意見交換を行い、「経営層による社員意見の吸い上げ」や「本社～現場間のコミュニケーション」の充実に取り組んでいる。
- また、実施結果および課題検討状況をイントラネットで関係者にフィードバック。議事概要については発電所・建設所員等へ全員メールしている。
- 第2回では、ご参加頂いた有識者委員から直接社員にアドバイス等を頂いた。参加社員からは、**大変参考になり有意義であったとの意見や継続実施してほしいとの要望**があった。

| 実施日 | 対象者 | テーマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|---|-------|---------|---------|-------|---------|--------|----|----|-----|----|---------|----|----|-----|----|--------|-----|----|----|---|--------|-----|----|----|---|--------|-----|----|---|---|
| 第1回(4月15日) | 副社長・常務と 現場実務者(H22入社) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 会社に入ってよかったこと、苦労していること。 ■ 会社の仕事でこれからチャレンジしたいこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2回(6月3日) 〔原子力安全文化の日に実施〕 | 有識者会議委員、副社長、 常務と 若手中堅社員 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 自己の誇り、使命感。 ■ 点検不備以降、気をつけていること、考えて行動していること | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3回(8月5日) | 社長と部長クラス以上 | ■ 業務上の課題等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 意見交換等で出された課題への対応状況の推移 | <p>263 / 274件改善完了 なお、H23.9以降に意見交換会で出た意見はその場で解決されたため、課題総数の増加はない。</p> <table border="1"> <caption>課題の改善状況推移 (件数)</caption> <thead> <tr> <th>期末</th> <th>全改善策完了</th> <th>一部改善策完了</th> <th>改善作業中</th> <th>実行計画策定中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23.9末</td> <td>56</td> <td>11</td> <td>113</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>H23.12末</td> <td>95</td> <td>13</td> <td>142</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H24.7末</td> <td>154</td> <td>28</td> <td>92</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H25.1末</td> <td>192</td> <td>38</td> <td>44</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H25.8末</td> <td>263</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> | | 期末 | 全改善策完了 | 一部改善策完了 | 改善作業中 | 実行計画策定中 | H23.9末 | 56 | 11 | 113 | 94 | H23.12末 | 95 | 13 | 142 | 24 | H24.7末 | 154 | 28 | 92 | 0 | H25.1末 | 192 | 38 | 44 | 0 | H25.8末 | 263 | 11 | 0 | 0 |
| 期末 | 全改善策完了 | 一部改善策完了 | 改善作業中 | 実行計画策定中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H23.9末 | 56 | 11 | 113 | 94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H23.12末 | 95 | 13 | 142 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H24.7末 | 154 | 28 | 92 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25.1末 | 192 | 38 | 44 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25.8末 | 263 | 11 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4-5. 第1回 安全文化醸成研修会・講演会

- 品質保証に係る新たな国の基準の制定(H25.7.8)に対応して当社QMSを改正したため、基準およびQMS改正内容の理解促進と、確実なルール遵守を目的として研修会を実施。
- アンケート評価では、「**理解促進の参考になった**」との回答が多数を占め、**目的を達成**できたと考えている。

| 実施概要 | テーマ | 「工事計画品質管理基準」の施行(H25.7.8)に伴うQMS文書改正の概要について | | | | | | | | | | |
|---------------|---|--|----|----|----------|-----|---------------|-----|--------------|-----|-----------|----|
| | 目的 | 工事計画品質管理基準およびQMS改正内容の理解を促進し、ルールの確実な遵守に資する。 | | | | | | | | | | |
| | 開催日 | ① 7月9日(火) 島根原子力発電所 ② 7月12日(金) 本社 | | | | | | | | | | |
| | 出席者数 | 228名 (内訳: ① 発電所173名, ② 本社 55名) | | | | | | | | | | |
| アンケート結果等 | 〔設問〕 参考になったか | <table border="1"> <caption>アンケート結果 (参考になったか)</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変参考になった</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという参考になった</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>参考にならなかった</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> | 回答 | 割合 | 大変参考になった | 20% | どちらかという参考になった | 60% | あまり参考にならなかった | 15% | 参考にならなかった | 5% |
| | 回答 | 割合 | | | | | | | | | | |
| 大変参考になった | 20% | | | | | | | | | | | |
| どちらかという参考になった | 60% | | | | | | | | | | | |
| あまり参考にならなかった | 15% | | | | | | | | | | | |
| 参考にならなかった | 5% | | | | | | | | | | | |
| 〔意見等〕 | <p>発電所では、法令施行後のタイムリーな説明会であったとの好評価の一方、具体的な自業務とのかかわりがわからなかったという意見も一部にあった。</p> <p>本社では、わかり易く参考になったとの意見が多かった。</p> | | | | | | | | | | | |

5. 内部監査による再発防止対策の実施状況評価

【再発防止対策の実施状況の評価】

審査部門は、電源(原子力管理, 原子力品質保証), 島根原子力発電所, 原子力強化プロジェクトにて資料確認等実施した結果, 再発防止対策を適切に実施しており, 定着していると評価する。

| | |
|------|--|
| 監査件名 | 再発防止対策の実施状況[平成25年4月8日, 18日, 6月28日] 品質マネジメントシステムの運営状況[平成25年8月27日~29日] |
| 対象箇所 | 電源事業本部(原子力管理, 原子力品質保証), 原子力強化プロジェクト 島根原子力発電所(保守部, 技術部, 品質保証部) |
| 監査項目 | AP1:直接原因に係る対策, AP2:原子力部門の業務運営の仕組み強化 AP3:不適合管理プロセスの改善, AP4:原子力安全文化醸成活動の推進 AP5:点検計画表に関する取り組み |
| 確認事項 | 【平成24年度の実施状況】 再発防止対策は, 手順書等に従って確実に実施しており, 定期的な有効性評価も適切に実施していることから, 各APの目的は達成していることを確認した。 【平成25年度の実施状況】 再発防止対策(AP1, AP3, AP4, AP5)は, 手順書, 業務実施計画書, APIに基づき確実に実施しており, 定着した活動を行っていることを確認した。 AP3の取り組みでは, 不具合情報等を不適合判定検討会で審議し, 不適合となった事案をすべて当社ホームページで公開(2回/月)していることを確認した。 |

[AP1, AP2, AP4, AP5の実施状況については平成25年度下期も確認する。]